

～開港記念カップにイビチャ・オシム前日本代表監督よりメッセージをいただきました～



Y S C Cのみなさん、このたびはサッカー大会の開催おめでとうございます。  
ならびに横浜のみなさん、開港 150 周年おめでとうございます。  
子供たちの成長に関して私が言えることがあるとすれば、監督のみなさんが考えを変えることが良いのかもしれない、ということです。  
それは結果的に、子供たちを変えていくことにつながるからです。  
子供たちの考え方やメンタリティを変えるために、監督自身が考え方を変える。  
練習について、プレーについて、サッカーそのものについて。  
そして考えなければならない。何が良くて何がいけないのか。何が効率的で何が非効率的なのか。そして肝に命じなければいけない。確固とした信念のもと、リスクを冒す必要もあること。常に前を向き、消極的にならないこと。そして世界で今、何が起こっているかを理解すること。  
チャンピオンズリーグ準々決勝、バルセロナ対バイエルンの第1戦は確かに素晴らしい試合でしたが、それをコピーしようとしても何の意味もありません。バルセロナのようなプレーができるようになるまでには、膨大な時間と努力とエネルギーが必要です。  
それは現実的ではない。別次元の問題であるからです。  
だから子供たちには、役に立つことを教えてください。  
本物をしっかりと見極め、サッカーの美しさ、素晴らしさを教えてください。  
美しいパスや見事なインターセプト、心憎いカバーリング、素晴らしいアイデア……  
そういうことこそサッカーでは重要です。見せかけのテクニックは必要ではなく、正しいタイミングのパスが必要なのです。日本にはたくさんのサーカスがあります。  
舞浜（ディズニーランド）にも素晴らしいアトラクションがあります。  
しかし、サッカーにサーカスは必要ありません。  
そうではなくて、本当のサッカーを子供たちに教えてください。そして子供たちは本当のサッカーをしっかりと学んでください。

イビチャ・オシム 09/4/15@グラーツ